
恋

ショコラ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
恋

【Nコード】
N2671B

【作者名】
シヨコラ

【あらすじ】
あの人と出会った季節。冬。雪が降る。この想いはどこへ…

(前書き)

まだまだ未熟者です。。つまらなかつたら本当すいません…

「ごめん。別れて。」

何度言っただろう…
この台詞を。

泣いてすぎる男…
怒りだす男…

様々だが、私の意志がかたいのがわかると皆離れていく。

どうしてだろう…？

いつも、今度こそ…って

そう思って付き合うのに。

私は、また同じことの繰り返しだ。

2年前。

大好きな大好きな人がいた

別れは突然だった。

あんなに毎日一緒に過ごしていたのに。

あの人は、私の前からあっけなく消えていった。

私なんかよりもお似合いのあの子と一緒に。

それから、いろんな男の人といたのに：

いつもどこかで、あの人と重ねてしまい、結局別れを選んでしまう。

最低だと思う。

たくさんの人を傷つけて：

だけどすがりたかった。

誰かに支えてほしかった。

でも、結局は私のエゴなんだ：

空から、雪が降ってきた。

あの人と出会った季節。

ふと気が付くと、頬に、涙がつたった。

また冬がきたんだね。

もう、2年もたったんだね

雪が降るなか、私は一人で歩いた。

まわりは幸せそうな恋人達ばかり。

その中で、あの人が視界にはいった。

隣には、もちろんあの子。

二人は、とても幸せそうに寄り添いながら歩いてる。

私は、気が付かれないように急いで歩いた。

また涙が頬をつたう。

もう、あの頃のあなたはいないんだね。

幸せそうな二人をみて

やっと現実として、受けとめられた気がした。

息をはくと、白かった。

空からは、雪がしんしんと降り続ける。

今夜は、きっと涙がとまらないだろう…

だけど、今夜であの人を想い泣くのは、最後にしよう

もう少しゆっくり恋をしよう。

今度は、ちゃんと愛せるように。

あの人と重ねずに…

その人だけを想えるように…

「さよなら。」

ぽつりとつぶやき、ゆっくりと歩きだした。

(後書き)

読んでいただき本当に、ありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2671b/>

恋

2010年12月13日22時46分発行